【 スライド動画 】

和鉄の道・Iron Road より転載

梅雨に先駆けて　山麓の湿地に　ひっそり咲くピンクの花　クリンソウ

千種 天児屋たたら跡に咲くクリンソウを訪ねる　2015.5.20.

2015.6.1.　by　Mutsu Nakanishi











奥播磨　たたらの山郷　千種　天児屋たたら跡に咲くクリンソウ　2015.5.20.



千種　天児屋たたら跡に咲くクリンソウ　　2015.5.20.

クリンソウの群生地と聞くたたらの郷の千種

千種天児屋たたら跡に咲くクリンソウを訪ねる　2015.5.20.

天児屋
たたら跡

三室の滝

岩鍋

千種

波賀

一宮安積

伊和神社

下三河

佐用

切窓峠

宍粟市

山崎

山崎断層の中を行く中国縦貫道

福崎



千種天児屋たたら跡のクリンソウ　2015.5.20.



2013.7月　久しぶりに訪れた千種　天児屋たたら跡で
「毎年5月末には　このたたら跡一面にピンクのクリンソウが咲き乱れ、
多くの人でにぎわう。
是非　次は　クリンソウが咲く5月末にいらっしゃい」と
このたたら跡を管理するおばさんに勧められた。

昨年はよう来ませんでしたが、昨年6月訪れた釜石の橋野高炉跡で、
周りの新緑に包まれて咲くピンクのクリンソウがとても印象的。
たたら跡にはクリンソウがにあうと・・・。

本年　梅雨に先立って初夏を準備するクリンソウが兵庫の群生地で
咲き出したと聞いて、昨日　丹波市妙高山のクリンソウを訪ねまし
たが、千種天児屋たたら跡に咲くクリンソウにも出会いたくて、
今日も千種のたたら跡に咲くクリンソウに会いたくて、
原チャリを奥播磨千種に走らせました。

谷川が流れる川縁に石垣で整地された段々のたたら跡
幾つも真っ直ぐに直立するピンクのクリンソウに
かつてそこで働いたたたら衆を見る

たたら跡にピンクのクリンソウ　素晴らしい景色にありがとう

知らなかったのですが、高校の親しい仲間の故郷が千種三室と知って、
すぐ近くの三室の滝にも立ち寄って帰りました。

今日は出会えませんでしたが、教えてくれた管理のおばさん
本当にありがとう
天児屋たたらの素晴らしいクリンソウに出会えました

2015.5.20.　　天児屋たたらのクリンソウを眺めつつ




「宍粟鉄・千種鉄」古代たたらの郷　千種
2013年6月に訪れた千種　天児屋たたら跡
山ノ神の上から勘定場・高殿跡を眺める　　2013. 7. 19.

古代たたらの郷　奥播磨　宍粟・佐用《千種・佐用》



千種　岩鍋　日本の製鉄発祥の地の記念碑



製鉄神　金屋子神

播磨国宍相(粟)郡の山間の村岩鍋に天から神が示現。「わたしは金山彦。天目一箇神ともいう金屋子神である」と明かす。
村人にタタラによって鉄を作ることを教え，様々な道具を作る技術を人々に授けた。 そして，「これから西の方へ行き，鉄を吹き道具を作ることをさらに多くの人々に教えねばならない」と，白鷺に乗って天空高く飛び立った。その後，金屋子神は出雲国に飛来し，能義郡比田の森に降り立ったと言う。



千種　天児屋たたら跡





千種川

1 才金B遺跡（上月町）
2 金屋中土居遺跡（上月町）
3 カジ屋遺跡（佐用町）
4 山平B遺跡（佐用町）
5 永谷B・C遺跡（佐用町）
6 坂遺跡（佐用町）
7 西下野製鉄遺跡（南光町）
8 滝谷U遺跡（佐用町）
9 安積山遺跡（一宮町）
10 小茅野後山遺跡（山崎町）

天児屋製鉄遺跡
岩鍋製鉄発祥地碑
岩鍋
千種
千種町
波賀町
一宮町
宍粟郡
佐用町
山崎町
佐用郡
佐用
上月町
南光町
三日月町
揖保川



播磨北部（佐用郡・宍粟郡）の製鉄遺跡

クリンソウの群生地と聞くたたらの郷の千種

千種天児屋たたら跡に咲くクリンソウを訪ねる　2015.5.20.

梅雨に先立って初夏を準備するクリンソウが兵庫の群生地のいくつかで咲き出したとの新聞記事。

昨日　丹波市妙高山の群生地に咲くクリンソウを訪ねましたが、気になっていた千種 天児屋たたら跡に咲くクリンソウにも出会いたくて、5 月 21 日　今日の朝 原チャリを奥播磨千種に走らせました。









朝　神戸を原チャリで出発して、国道175号線から
小野　そして　青野ヶ原の丘陵を越えて、
加西から福崎へ
そこから山崎断層の中　切窓峠を越えてゆく

西播磨の佐用・千種へ通ういつもの道
播磨の田園風景を楽しみながら新緑の山間へ
神戸から約3時間ちょっとで佐用・千種にたどり着く
自然を満喫できる楽しいたたら街道を行く

今回はたたら跡に咲くピンクのクリンソウとの初めての出会いが楽しみ　　帰りはたたら製鉄伝承の岩鍋を通って、山崎へ。 ジキタリスが咲き乱れるたたら跡　野々隅原へも立ち寄りたいが、無理だろう。　　千種の三室山山麓へも立ち寄りたい。

この街道はあっちも　こっちも　立ち寄ってみたいたたらの痕跡ばかりだ。

2015.5.20.朝



奥播磨宍粟市山崎から西へ中国縦貫道沿い切窓峠を越えて　佐用町へ

2015.5.20.

神戸から東播磨の田園が広がる丘陵地を北西に横切って福崎へ。 福崎からは山崎断層の中を行く中国道に沿って山間を抜けると神戸から周囲の景色を眺めながら約２時間ほどで、宍粟市の中心山崎の街に入る。

さらに中国道沿いに山間を走って、切窓峠をこえ、土万の志文川を渡り、北へ山間を越えると千種川の河岸段丘が広がる佐用町下三河のＴ字路。南へ下れば佐用　北へ上れば千種川を遡って千種に至る。






切窓峠を西へ下ると千種川が流れ下る佐用町下三河　南へ行けば佐用　北へ上れば千種　2015. 5. 20.

山中にちょっとした田園が広がり、中央を千種川が流れ下り、その両側の山裾に田園と集落がある。

ここでは、なぜか　まだ　田植えの準備作業が始まっておらず、蓮華畑が広がって美しいピンクの原に・・・・

最近はほとんど　見かけられなかった蓮華畑　流れ下る千種川の土手にあがって、蓮華畑と千種川の流れに見とれていました。








奥播磨　佐用町下三河の三叉路　左　佐用町　右　千種　2015.5.20.



奥播磨　佐用町三河を流れ下る千種川　河童伝説が残る　　2015.5.20.



最近は見られなくなったレンゲ畑を佐用と千種の分岐　三河の郷で見つけました
2015.5.20.



北の千種から流れ下り、佐用へ流れてゆく
奥播磨古代たたらの郷を流れる千種川　2015.5.20. 佐用町三河で



千種川に沿って　北へ遡る　正面に三室山が見え、　まもなく千種　2015.5.20.



梅雨前の快晴　田植え作業で忙しい　千種の田園で　　千種 七野で　2015.5.20.

背後には後山から笛石山の山並みが見える
目指す千種西河内の天児屋たたら跡は子の山並みの背後である



千種の田園を流れ下る千種川　　とその背後　後山から笛石山の山並み　2015.5.20.



千種の町を横目に見ながら　まっすぐ北へ通り抜ける　2015.5.20.



千種の町を通り抜けると山間に　何度きても心地よい緑の道　　2015.5.20.



千種町河合　千種高原・三室高原のT字路を左へ千種高原へ　　2015.5.20.



千種高原へのT字路をまがってすぐ　左手の千種川河岸段丘の道路わき
「高保木野たたら遺跡包蔵地」の看板　ここが古代の高保木たたら跡なんだと　　2015.5.20.



千種町で最も古いたたら遺構跡　800年前の高保木たたら跡　　2015.5.20.


傍らに置かれた鉄滓
千種町で最も古いたたら遺構跡　800年前の高保木たたら跡　　2015.5.20.



千種川の本流沿い西河内の谷筋を千種高原へ登ってゆく 2015.5.20.

この道は南北に連なる岡山/兵庫の県境稜線を峰越峠を越えて、岡山西岩倉村に続く



千種西河内　千種高原と天児屋川の分岐　　2015.5.20.

この分岐を右へ天児屋川沿いを少し登れば、天児屋たたら跡



千種西河内より　登ってきた東の千種川沿いを眺める　　千種高原分岐で　2015.5.20.



左手:学習館　右側:石垣に囲まれた林の中　天児屋たたら跡　天児屋たたら跡公園

2015.5.20.石垣の前にピンクの帯　クリンソウが咲いているのが見える


天児屋たたら跡に自生するクリンソウ群落　　2015.5.20
山の傾斜地に石垣で囲われて区切られたたたら跡のあちこちで
ピンクのクリンソウが咲いています
天児屋たたら跡で　2015.5.20.


天児屋鉄山諸施設配置図
鳥羽弘毅「たたらと村 千草鉄とその周辺」より
1 高殿
2 金池
3 大銅場
4 砂鉄炭小屋
5 勘定場
6 米蔵
7 小銅場
8 鉄倉庫
9 味噌小屋
10 牛つなぎ場
11 牛小屋
12 道具小屋
13 鍛冶小屋
14 金屋子神祠・砂鉄神祠
15 山配屋敷
16 村下屋敷
17 山内屋敷
18 山ノ神祠
19 厩屋
20 麻蒸場
21 カナクソ捨場
22 風呂
23 畑

兵庫県指定史跡　天児屋鉄山跡

所在地　宍粟市千種町西河内字新口

【指定年月日】平成十四年四月九日

【概　要】城跡を思わせる整然と積まれた石垣が残る天児屋鉄山は、高殿（たたら）、勘定場（事務所）、砂鉄・炭小屋（材料庫）、山内小屋（社宅）など複数の建物群で構成されていた大規模な製鉄施設の跡である。

天児屋鉄山の主な操業期間は、江戸時代前期から明治十八年（一八八五）までの二百五十年余りと推定されるが、発掘調査の結果から、製鉄遺跡としての歴史はさらに中世まで遡るとも考えられている。

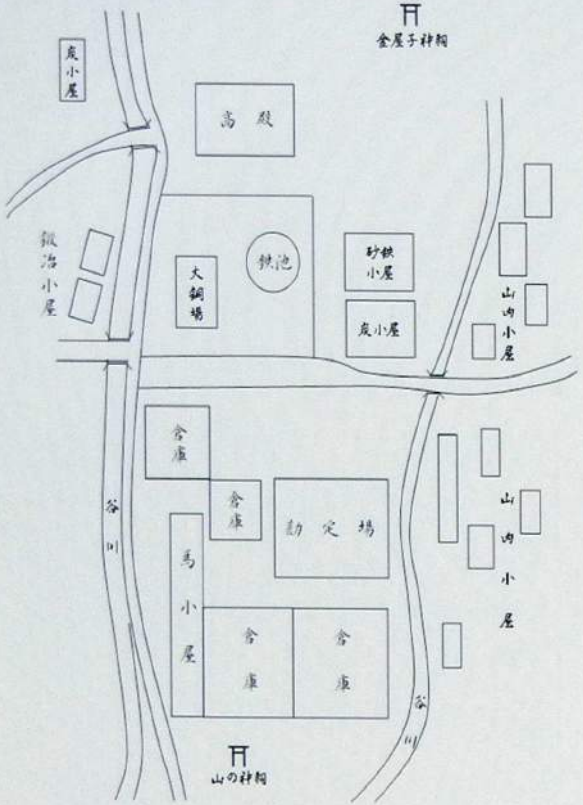
千種で産出される鉄は、その品質の高さから「千草鉄」の名で珍重され、特に中世、備前長船（現・岡山県瀬戸内市）の刀匠達は、それを原料に数多くの名刀を作り出した。

江戸時代に入ると、千種は徳川幕府の直轄地（天領）となり、天児屋鉄山は幕府から認可を受けた千草屋や鳩屋などの豪商「鉄山師」によって請負運営された。この頃には、刀以外にも生活用具の製造に必要な鉄の需要が増加し、山崎まで就航していた揖保川の高瀬船などを使って下流の姫路、さらに大坂方面へと出荷されるようになった。

江戸時代後期に盛時を迎えた天児屋鉄山には、数十戸から百戸、数百人を越える従業者が居住していたと推測されるが、近代に入ると鉄価格の下落によって運営が困難となり、明治十八年ついに閉山された。

参考文献　鳥羽弘毅
『たたらと村』ほか

図取見置配跡遺山鉄屋児天





高殿跡と左手上部　金屋子神祠　　2015.5.20.



上流側 高殿側から天児屋たたら跡全景





勘定場前より下流側



下流側 山ノ神の手前 学習館前より

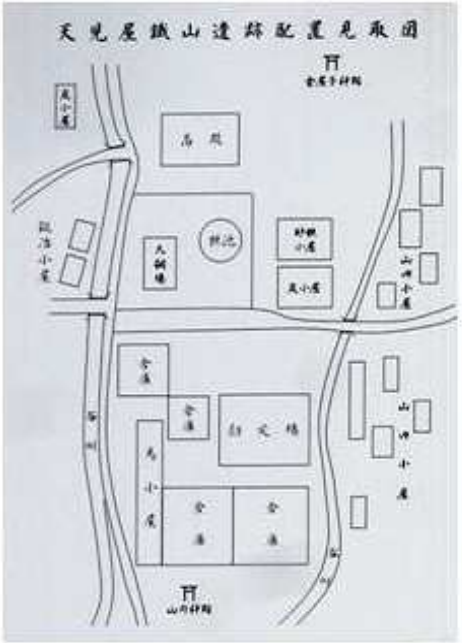
千種 天児屋鉄山 全景 2013. 7. 19.

2013.7.19.訪れたし資料より転記



天児屋鉄山下流側上部から眺めた天児屋鉄山

写真左手:多々良の里学習館　中央:木々に囲まれて山の神　奥:高殿

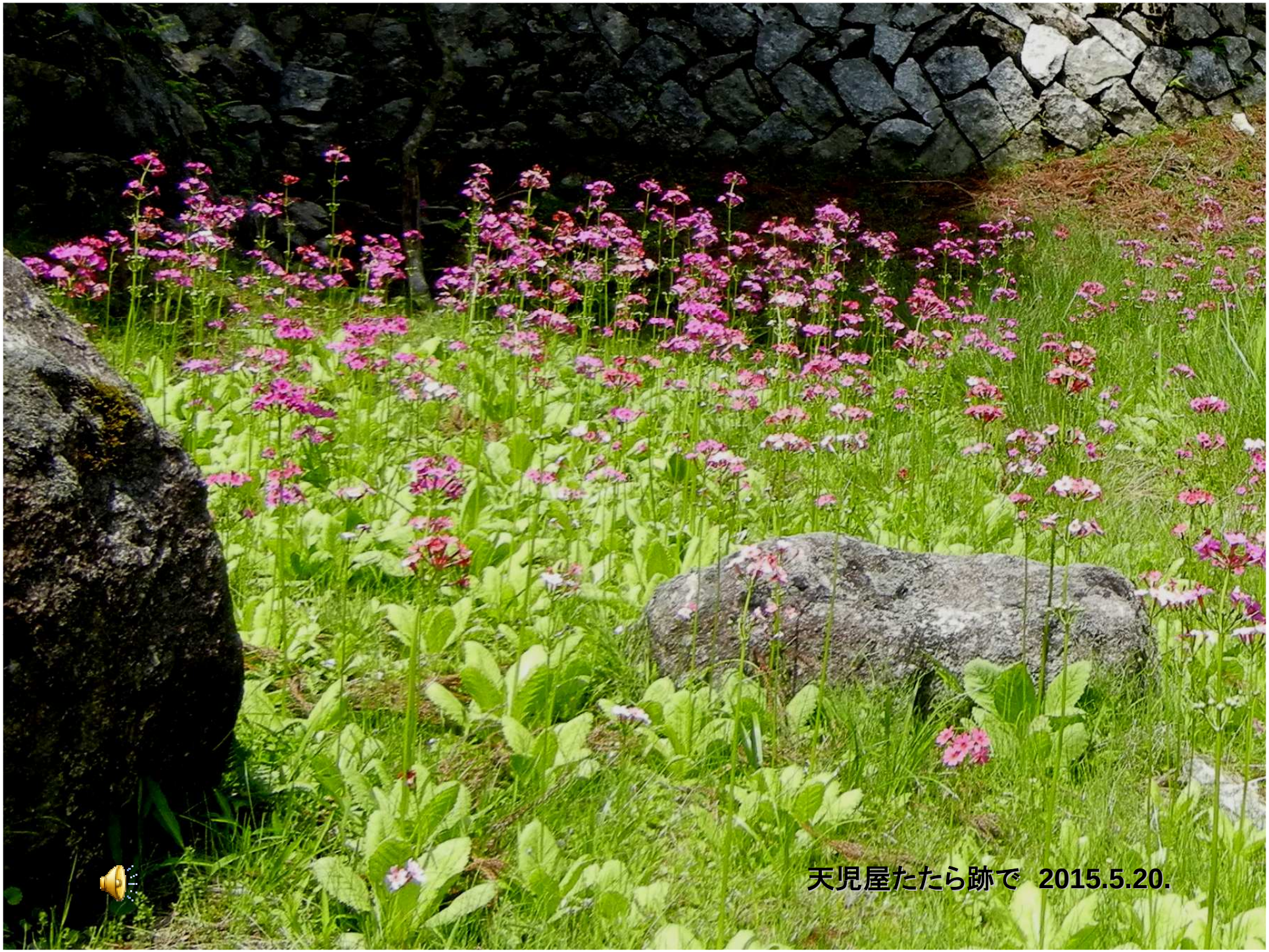






2013.7.19.訪れたし資料より転記

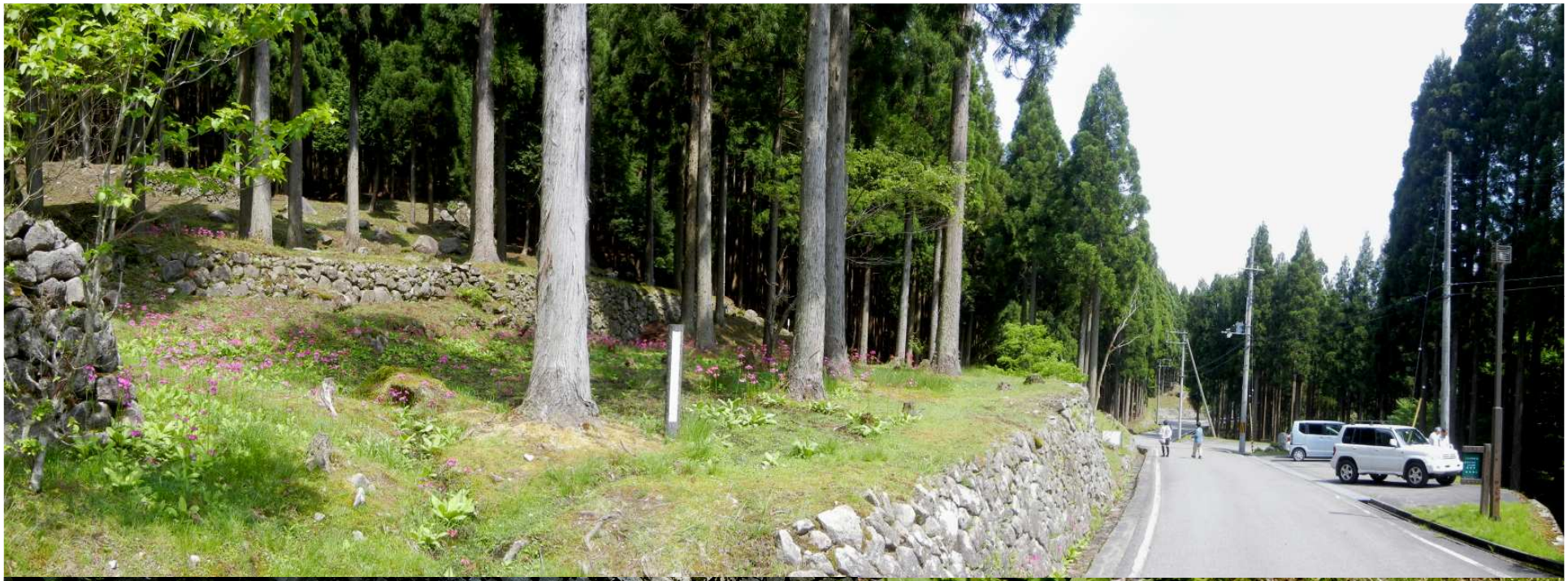

天児屋たたら跡で　2015.5.20.


天児屋たたら跡で　2015.5.20.


天児屋たたら跡で 2015.5.20.


天児屋たたら跡で 2015.5.20.


天児屋たたら跡で　2015.5.20.

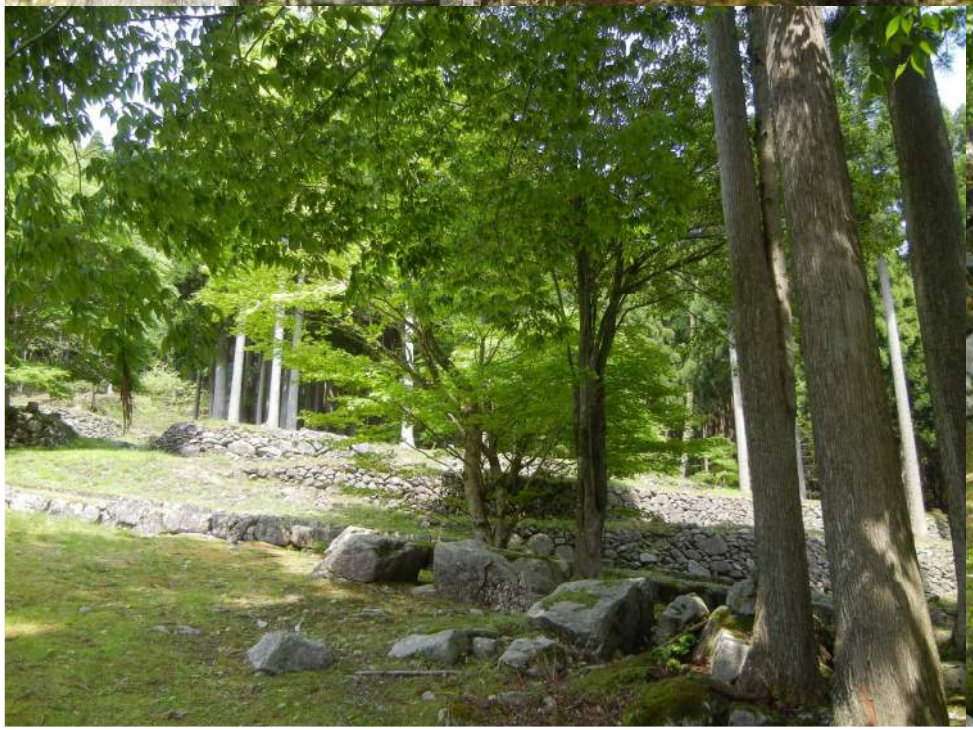




天児屋たたら跡で　2015.5.20.









天児屋たたら跡で　2015.5.20.



天児屋たたら跡で　2015.5.20.













たたら跡の上部端　金屋子神社祠跡から眺めるたたら跡　2015.5.20.


天児屋たたら跡で　2015.5.20.


天児屋たたら跡で　2015.5.20.


天児屋たたら跡で　2015.5.20.



天児屋たたら跡で　2015.5.20.









天児屋たたら跡で　2015.5.20.



天児屋たたら跡で　2015.5.20.


天児屋たたら跡で　2015.5.20.


天児屋たたら跡で　2015.5.20.


天児屋たたら跡で　2015.5.20.



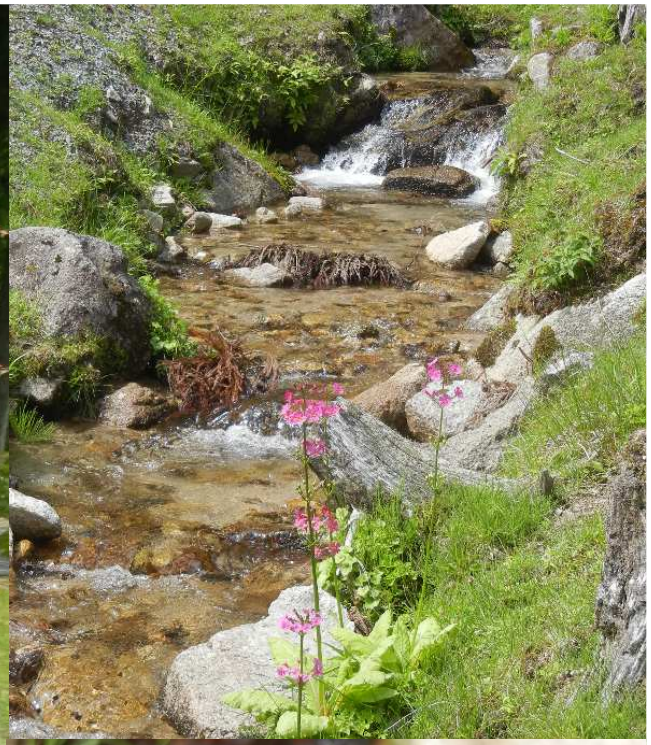
高殿跡と左手上部　金屋子神祠　2015.5.20.


天児屋たたら跡で　2015.5.20.


天児屋たたら跡で　2015.5.20.



天児屋たたら跡で　2015.5.20.

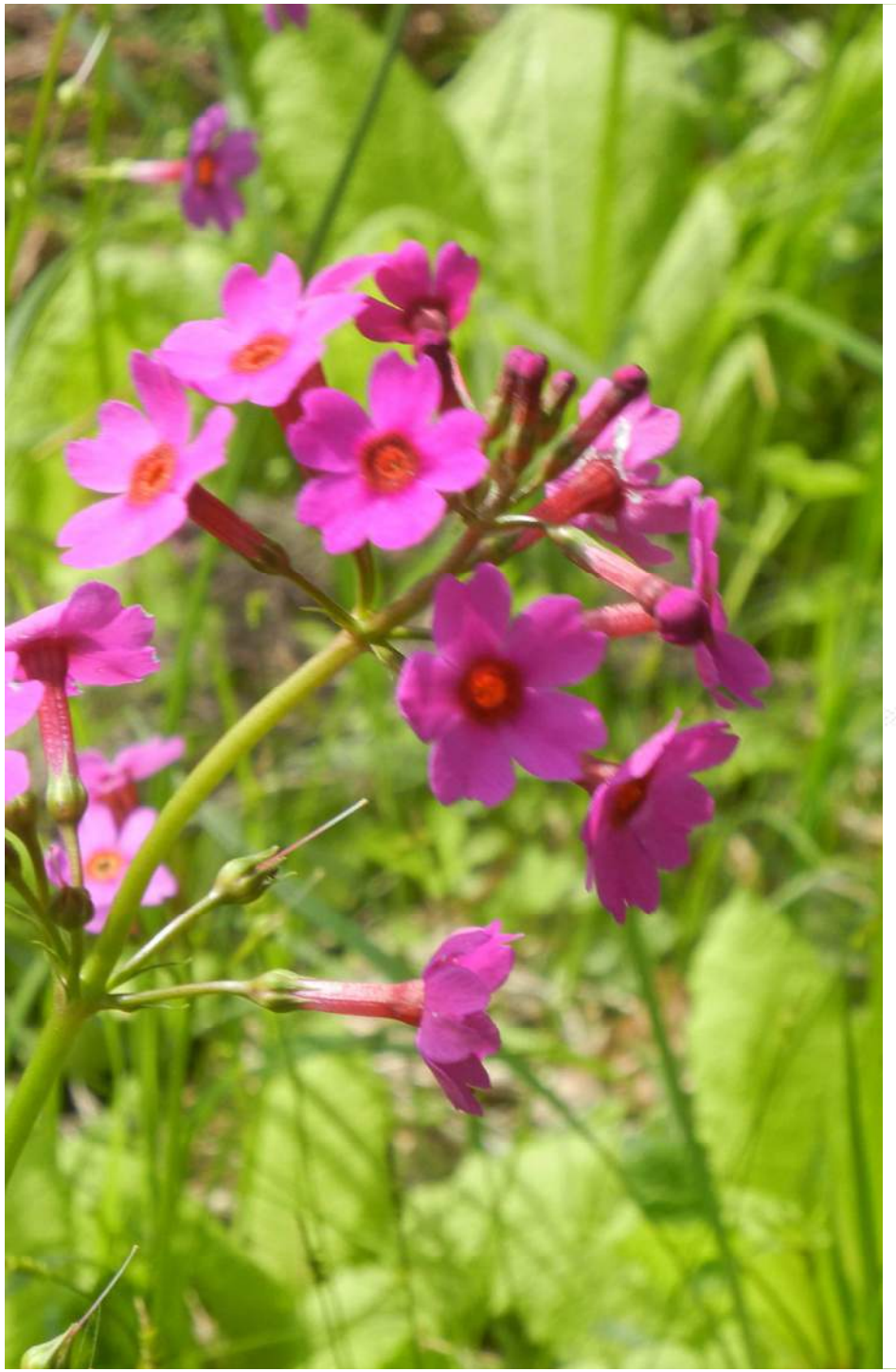





天児屋たたら跡で　2015.5.20.


天児屋たたら跡で 2015.5.20.


天児屋たたら跡で　2015.5.20.



梅雨の前 初夏の湿原で密かに咲くクリンソウ
《九輪草》

《クリンソウの花言葉》

『幸福を重ねる』

クリンソウはサクラソウ科の日本原産の多年草。

花の輪が下から先端に上って何段にも重なることから、またはお寺の塔の九輪のように見えることから「**クリンソウ**（九輪草）」と名づけられた。

5~6月に北海道から本州・四国に分布し、山地の湿地などで自生。
茎は50㎝ほどですがときには１m近くにも伸ばす。
葉は薄緑色の長楕円形で長さ10~20㎝と大きく、縁にはギザギザがあり、花色は白やピンク、濃桃色で、長く伸ばした茎先に、3~7段ほど茎を取りまいて車輪のようにつく。






初夏の風を吹き込む可愛らしい花
花言葉は「幸福をかさねる」
たたら跡にクリンソウ
梅雨前のひととき、緑の中の湿地に、真っ直ぐに立つ明るいピンクの姿に惹かれる
派手さはないが、一株一株自立しながらも、群集して、自分の居場所をしっかり守り、輪になって　一段一段　幸福を積み重ねてゆく。


天児屋たたら跡で 2015.5.20.





「　谷川が流れる川縁に石垣で整地された段々のたたら跡

幾つも真っ直ぐに直立するピンクのクリンソウに　かつてそこで働いたたたら衆を見る　」

天児屋たたらの素晴らしいクリンソウ　「新緑に包まれたたたら跡には　クリンソウが　よく似合う」

たたらの郷に咲くピンクの可愛らしい花　素晴らしい景色にありがとう

今日は出会えませんでしたが、教えてくれた管理のおばさん

本当にありがとう

2015. 5. 20.　　天児屋たたらのクリンソウを眺めつつ



天児屋たたら跡で　2015.5.20.



三室山山麓　河内の谷筋へ

千種へのT字路から逆に北へ、河内・三室山への道に立ち寄る

クリンソウが咲く天児屋たたら跡を後にして、今回もう一つ是非　今回足を踏み入れたい場所がある。
最近インターネットをチェックしていて、
・・・・「上流に三室山鉄山があった河内川の大きな　滝　[燗鍋ノ滝 別名 三室の滝] の下で
・・・・・金糞（鉄滓）を採取した」との記事を眼にした。
いつも、千種川沿いを遡り、千種川が西に90度折れる三室川との合流点川井から西河内天児屋たたら跡へ向かい、真っ直ぐ北の三室山のへは「そのうちに」と思いつつ、足を踏み入れたことがない。
この三室川沿いの谷筋河内もたたらの郷で、江戸時代　河内の谷筋へ入るところに高羅鉄山
一番奥に三室鉄山があったというが、詳細はよく知らずそのままになっていたところである







三室川沿いに集落が点々と並ぶ河内を三室山に向かって遡る　　google eatth より





川井から 10 数分で三室山の入口　三室高原の案内板があり、左手　三室川の崖ぶちに三室の滝の案内板がありました

google eatth より







三室川沿いに集落が点々と並ぶ河内を三室山に向かって遡る　　google eatth より

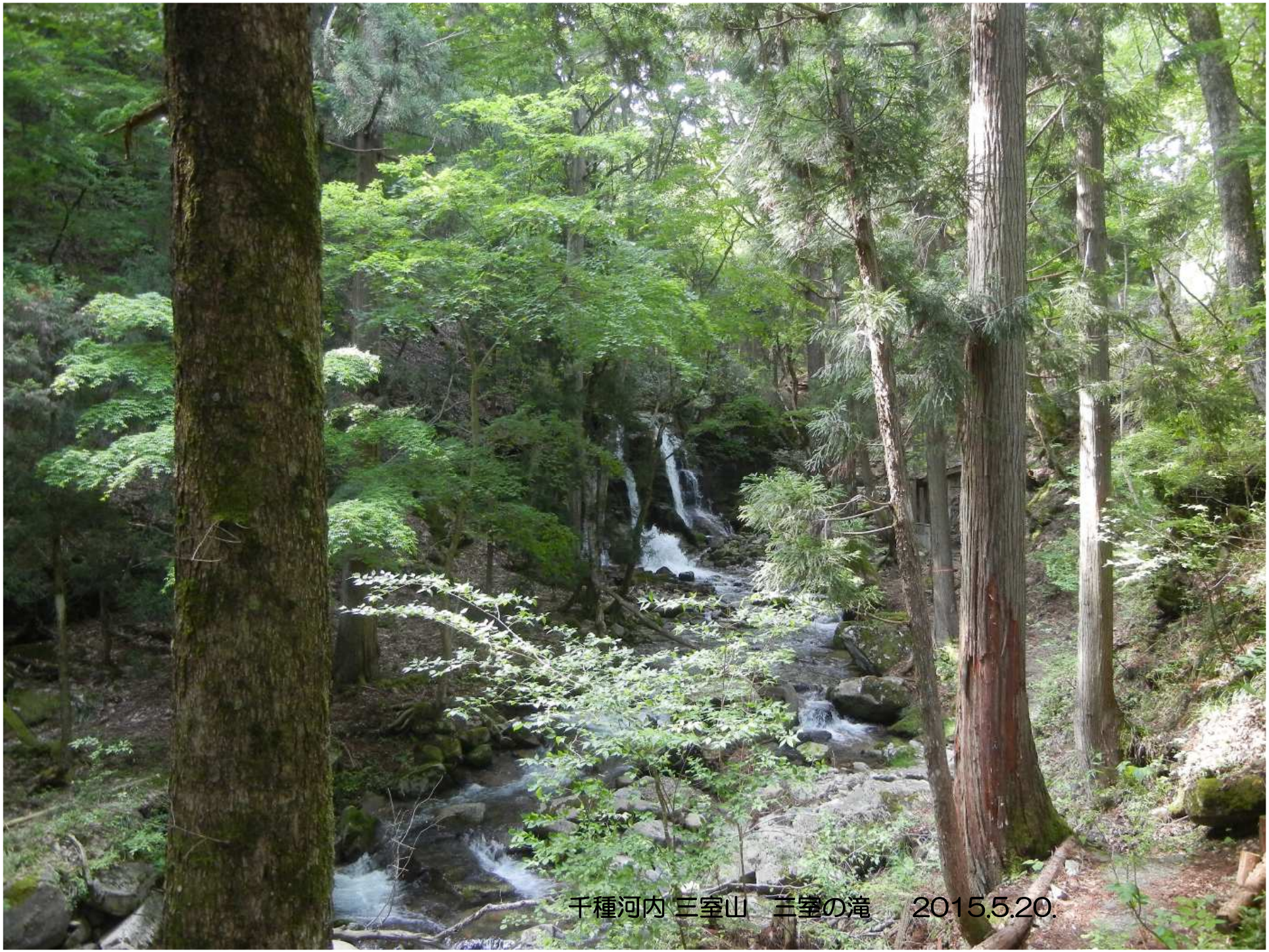




川井から 10 数分で三室山の入口　三室高原の案内板があり、左手　三室川の崖ぶちに三室の滝の案内板がありました

google eatth より


千種河内 三室山　三室高原の森　　2015.5.20.



千種河内 三室山　三室の滝　　2015.5.20.



千種河内 三室山　三室の滝　　2015.5.20.



千種河内 三室山　三室の滝　　2015.5.20.



千種河内 三室山　三室の滝　　2015.5.20.

道路の左手　三室川の崖下に三室の滝　そして道路を挟んで右側には素晴らしい新緑の三室山の森が広がっていました。
時刻は午後 2 時 50 分。　今日はここまでと決め、三室川に下りて、三室の滝　そして新緑の森にも入ってきました。






三室高原　　三室の滝　入口で　　2015. 5. 20.





三室高原　　三室の滝　　2015. 5. 20.



千種の町へ戻って、東へ
古代製鉄神　金屋子神　降臨伝承地《岩鍋》を通って、波賀町から山崎への道をたどる　2015.5.20.

千種から東へ　古代製鉄神 金屋子神　降臨伝承地　千種岩鍋へ

トンネルで鳥ヶ峰をくぐって　波賀町に出て　揖保川水系　引原川を下って宍粟市山崎へ







製鉄神 金屋子神と千種 古代製鉄発祥の地伝承

播磨国宍粟(粟)郡の山間の村岩鍋に天から神が示現。「わたしは金山彦。天目一箇神ともいう金屋子神である」と明かす。



村人にタタラによって鉄を作ることを教え，様々な道具を作る技術を人々に授けた。そして，「これから西の方へ行き，鉄を吹き道具を作ることをさらに多くの人々に教えねばならない」と，白鷺に乗って天空高く飛び立った。その後，金屋子神は出雲国に飛来し，能義郡比田の森に降り立ったと言う。

帰りは千種川沿いを降らず、千種の町から東へ　国道 492 号線で　岩野辺・岩鍋を通って　鳥ヶ峰を新しい鳥ヶ峠トンネルで抜けて、揖保川水系の波賀町へ出て宍粟市山崎へ揖保川沿いを降る。

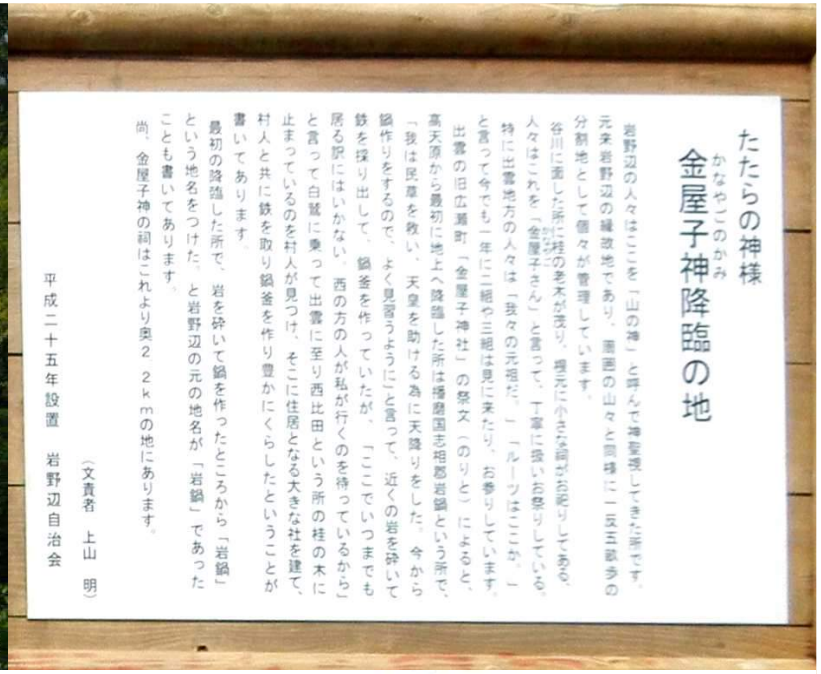
かつては交通の難所であり、また　子の山中には数々のたたら跡があり、特に途中　岩鍋は金屋子神降臨伝承地としてされ、街道沿いにその碑がある。



千種の町から西への街道　すぐに岩鍋の集落に　2015.5.20.



千種から東へ国道４２９号線　後山をバックに岩野辺のなだらかな坂道を
登ってゆくと　左手坂の途中に碑が見えてくる



たたらの神様
金屋子神降臨の地

岩野辺の人々はここを「山の神」と呼んで神聖視してきた所です。
元来岩野辺の緩斜地であり、周囲の山々と同様に一五五haの
分割地として個々が管理しています。
谷川に面した所に枝の老木が茂り、根元に小さな祠がおまつりしてある。
人々はこれを「金屋子さん」と言って、丁寧に扱いお祭りしている。
特に出雲地方の人々は「我々の元祖だ。」「ルーツはここか。」
と言って今でも一年に二組や三組は見に来たり、お参りしています。
出雲の旧広瀬町「金屋子神社」の祭文（のりと）によると、
高天原から最初に地上へ降臨した所は播磨国志相郡岩鍋という所で、
「我は民草を救い、天皇を助ける為に天降りをした。今から
鍋作りをするので、よく見習うように」と言って、近くの岩を砕いて
鉄を採り出して、鍋釜を作っていたが、「ここでいつまでも
居る訳にはいかない。西の方の人が私が行くのを待っているから」
と言って白鷺に乗って出雲に至り西比田という所の柱の木に
止まっているのを村人が見つけ、そこに住居となる大きな社を建て、
村人と共に鉄を取り鍋釜を作り豊かにくらしたということが
書いてあります。
最初の降臨した所で、岩を砕いて鍋を作ったところから「岩鍋」
という地名をつけた。と岩野辺の元の地名が「岩鍋」であった
ことも書いてあります。
尚、金屋子神の祠はこれより奥２２ｋｍの地にあります。

（文責者　上山　明）

平成二十五年設置　岩野辺自治会





古代製鉄神　金屋子神　降臨伝承地《岩鍋》



古代製鉄神　金屋子神　降臨伝承地《岩鍋》

千種から東へ　岩野辺から山越えで揖保川水系の波賀町斉木へ
国道429　鳥ヶ巓（とりがたわ）道路と鳥ヶ巓トンネル 開通

千種から岩野辺を通り内海を経て鳥ヶ峰を越えて西谷村（現・宍粟市）に至る「岩野邊道」が当道路の由来とされる。昔の本道路は峠を境に岩野辺側は比較的緩やかで、斉木側は急傾斜となっていた。
急峻な谷間から峠越えするルートのため、大型車のすれ違いが困難で、さらに冬季の積雪による通行止めが頻発するなど、交通の障害となっていた。これらを解消するため、トンネルを含む道路の改築事業に着手し、鳥ヶ巓トンネル 開通とともに　2008年11月11日にとりがたわ道路全体が供用開始された。



インターネットから採取　鳥ヶ巓トンネル

長いトンネルを抜けると波賀町斉木の集落に出て、
そのまま長い坂を下ると正面の山際の引原川の橋。
引原川沿いを下ってきた鳥取と宍粟市山崎とを結
ぶ国道２９号線に出て、あとは真っ直ぐ川沿いを
南へ下れば３０分ほどで宍粟市の山崎である。



長いトンネルを抜けると波賀町斉木の集落
千種川水系から揖保川水系にあっけなく出る

久しぶりの長い原チャリツーリングでしたが、
新緑のたたらの山郷をかけぬけた心地よい一日
この地に通いだして約20年ですが、たたら跡に
咲くピンクのクリンソウを見るのは初めて
イメージを膨らませながら訪ねた景色
たたら跡によく似あうと。

また、気になっていた三室山の河内の谷筋
そして久しぶりに古代製鉄神降臨の地　岩鍋にも行けました

何度来ても　新鮮な千種での一日でした

2015.5.20.　夕　原チャリを走らせながら　by Mutsu Nakanishi









たたら跡には　ピンクのクリンソウがよく似合う

梅雨前の田植の準備で忙しい北播磨の郷を
満足感一杯で駆け抜けて帰りました

2015.5.20.夕

梅雨の前 初夏の湿原で密かに咲くクリンソウ
《九輪草》

《クリンソウの花言葉》

『幸福を重ねる』

クリンソウはサクラソウ科の日本原産の多年草。

花の輪が下から先端に上って何段にも重なることから、またはお寺の塔の九輪のように見えることから「**クリンソウ**（九輪草）」と名づけられた。

5~6月に北海道から本州・四国に分布し、山地の湿地などで自生。
茎は50㎝ほどですがときには１m近くにも伸ばす。
葉は薄緑色の長楕円形で長さ10~20㎝と大きく、縁にはギザギザがあり、花色は白やピンク、濃桃色で、長く伸ばした茎先に、3~7段ほど茎を取りまいて車輪のようにつく。






新緑のたたらの山郷をかけぬけた心地よい一日
この地に通いだして約20年ですが、
たたら跡に咲くピンクのクリンソウを見るのは初めて
たたら跡によく似あう
また、久しぶりに古代製鉄神降臨の地　岩鍋にも行けました
何度来ても　新鮮な千種での一日でした～

【 関連Iron Road　ご参考まで 】

1. **久しぶりに西播磨 古代からの製鉄の地「宍粟市千種」を訪ねる」2013.7.19.**
   千種天児屋たたら跡・岩鍋古代製鉄発祥の地伝承の碑を訪ねる.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1308chigusa00.htm
2. **たたらの郷に「ジキタリス」の花園を訪ねる**
   奥播磨黒尾山西北山麓　宍粟市山崎町　野々隅原 大国牧場　花のWalk
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/9iron07.pdf

【参考資料】 鳥羽弘毅氏著「たたらと村　千草鉄とその周辺で」

【和鉄の道・Iron Road】西播磨の古代製鉄地帯　宍粟・佐用の製鉄関連遺跡　探訪

1. 古代鉄の大王国　播磨国　「千種鉄」「岩鍋」古代製鉄神　金屋子神　降臨伝承の地　2001.1.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/jstlbb01.pdf
2. 古代製鉄の一大生産地「諡容の里」Walk　西播磨　佐用町　大撫山製鉄遺跡を訪ねて　2003.11.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron01.pdf
3. 「御方里」周辺　安積山製鉄遺跡探訪　一宮町　2004.2.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron07.pdf
4. 産鉄の地　「御方里」の里を訪ねて　一宮町　2004.6
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/4iron10.pdf
5. たたら製鉄 砂鉄採取の地形　西播磨　砥峰高原　一面ススキが覆いつくす　砥峰高原　2007.10
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/7iron18.pdf
6. たたらの郷に「ジキタリス」の花園を訪ねる　2009.6.21.
   奥播磨黒尾山西北山麓　宍粟市山崎町　野々隅原 大国牧場　花の Walk
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/9iron07.pdf
7. 奥播磨　千種川に注ぐ恋文川源流 たたらの郷　宍粟市山崎町小茅野（こがいの）集落を訪ねる　2010.7.20.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/10iron08.pdf
8. 「初期大和王権の成立に大きな役割を演じた西播磨」
   西播磨で古墳時代後期末の鍛冶炉跡が出土 有年 牟礼・井田遺跡を訪ねる　2011.3.
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/11iron02.pdf
9. 千種川流域に咲くひまわり畑と製鉄神「天目一箇神」を祭る「天一神社」を訪ねる　2012.8.
   佐用　西播磨佐用町（旧南光町）林崎
   http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/12iron06.pdf



クリンソウの群生地と聞くたたらの郷の千種

千種天児屋たたら跡に咲くクリンソウを訪ねました　2015.5.20.

おしまい

【参考　和鉄の道･Iron Road】

◆　久しぶりに西播磨 古代からの製鉄の地「宍粟市千種」を訪ねる」2013.7.19.
千種天児屋たたら跡･岩鍋古代製鉄発祥の地伝承の碑
http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1308chigusa00.htm